

合併の効果を

どのように捉えるか



麦田 博稔議員

麦田議員 今度の合併合意のなかで、行・財政基盤の強化、行政サービスの効率化等が行われ、足腰の強い新しい町ができるのか、不安である。合併の効果も、どのように捉えているか。

町長 職員の人材の充実、専門性の強化、行・財政運営の効率化など、行政能力を高められる。また、十五年間の財政的支援があり、支援終了後の財政運営を視野に入れた取り組みが課題になるが、将来に向けて町の飛躍・発展の基礎づくりが可能になる。

合併してよかったと言えぬ町になるか

麦田議員 多くの人が、合併すればよくなるという幻想を抱いている。自主財源の少ない交付税依存の町だから、身の丈に合った財政の論議をするべきではなかったか。消防や衛生処理、電算、水道、あびる館、滝の宿などの管理費や補助金の増加を考えると、今、合意している財政運営で、一〇年後、二〇年後に合併してよかつたといえる町になるのか。

町長 各町の住民サービスの基準が異なっていたので、調整のなかで歳出負担が増える結果になった。しかし、厳しい財政状況のもとでは、住民生活にあまり影響を与えない

い形で、合併後、段階的に改めていく。他町に胸を張れるような町づくりを進めていくことが、我々に課せられた命題である。

毎月行われている
流水小学校の親子読書運動



「読書運動」で

子供たちの健全育成等を

麦田議員 優しい心や豊かな心は、一朝一夕には形成されない。幼い頃から、心に栄養を与えることが必要である。「親子

二〇分間読書運動」を進め、子供たちの健全育成や町の活性化に活かしていく考えはないか。

町長 新町で、「子供読書活動推進計画」を策定して、「読書活動推進の町」を宣言したい。そして、学校・家庭・地域など、全町的な運動として進めるとともに、段階的に広域的取り組みもしていきたい。

流水小学校に 記念碑を

麦田議員 「椋 鳩十」生誕一〇〇周年、町五〇周年を機に、「親子二〇分間読書運動」の発祥地である「流水小学校」に記念碑を建てることは意義深いと思うが、どう考えるか。

町長 発祥の地のモニュメントは、町の誇りにもなるし、みんなが読書の重要性を考えるいい機会にもなる。合併までには難しいと思うが、関係者と協議しながら検討したい。